

# 第47回「議員と語り合い」報告書

文教厚生常任委員会(No.1)

開催日	令和6年11月7日(木曜日) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟3階 第1・2委員会室・全員協議会室		
団体名	個人参加(文教厚生委員会テーマ型)	参加 人員	7人 (男4人:女3人)
出席議員	松枝正浩、野村和人、藤田直仁、塩井川公子、山口仁美、宮田竜二、前島広紀、有村隆志		
役割分担	班長(松枝正浩)、副班長(野村和人)、記録係(宮田竜二)		
テーマ及び 具体的な内容	こどもと共に育む子ども会・PTA活動		

意見交換での主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>【1班】</p> <p>◆霧島地区の子ども会入会4世帯5人 学校以外に交流の機会が無い。遊ぶ場所、施設が無い。移住される方のメリットが無い。 ◇リノベーションまちづくり事業で、旧霧島公民館を活用して子どもの遊び場づくりをしてはどうか。</p> <p>◆クラウドファンディングを活用して、企業と協賛して子どもの遊び場づくりができないか構想している。</p> <p>◆県の地域づくり事業があるが、公民館では活用されていない。木育セミナーなど計画している。 子ども会を無くして、公民館で包括したほうがいいのか。 公民館で子どもたちが集まって宿題などできないか。 麓地区に公園整備されたが、遊具が無い。 ICT、SNSの使い方教育などできないのか。(霧島市内一斉にオンライン教育で)</p> <p>◆宮西公民館では、子どもが習い事をしているので、子ども会のイベントができない。 公民館にエアコンが入ったので、夏休みに防災関連の子ども会イベントを計画、実施したが、老人会の参加者がいなかった。 ◇PTAもいないという保護者もいる。</p> <p>◆PTAの仕事を外注に委託しているところもある。 ◇横川では、子ども会と地域の高齢者が連携しているので、加入率が高く、必要性をみんなが共通認識している。</p> <p>◆溝辺にはエリア区分された公民館以外に、人為的に組織された公民館があり、活動が複雑で困難な場合がある。</p> <p>◆子ども会の活動を一生懸命したいが、後任の方にプレッシャーが加わり、役員になりたがらない。 ◇子ども会の会長は、一人で抱え込まず、役割分担を決めて多くの人に振るべき。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇木育については、森林環境譲与税など使えるのではないか。

【2班】

1 子ども会について

- ・ 加入率が低いため、昔と同じ活動はできなくなっている。特に霧島市では、学校と子ども会の連動も多くあり、子ども会に入ることがデメリットであると認識されていることもあるようだ。

① 向花小学校校区・・・3つの子ども会がある

- ・ 役員をしたくないから入らないなど、デメリットの話題が先行する。
- ・ 地域行事と交流行事、旗当番、夕読み活動があったが、旗当番はPTAで引き受けることになった。自治公民館で「子ども会は何のために必要か？」立ち位置を確認した。
- ・ 新町地区は、女性部をなくして子供育成部を作った。・・・役員は各自治会から子育て世代以外も含めて出した。また、子ども会・自治会に入っていない人も参加できるようにし、PTAから子ども会の情報を流したところ、参加者が増えた。自治会に入っていない人も来た。新町は、自治会からの予算を入れ、PTAから周知し申し込み、無償で開催。同意書で、個人情報の件をクリアにした。六月灯の灯籠作りはコンテストにして、QUOカードを1～3位にあげるようにした。とても盛り上がった。遊びの要素は必要。

② 国分中央・・・マンションが多く、自治会加入率が低い。(16%)

- ・ 子ども会に入っていない人には、お知らせが届かない。会員からも、自治会未加入者の面倒までなぜ見るのかという話や、その経費は誰が負担するのかという話題がある。また、習い事がある子たちは、参加できない。

③ 上小川・・・地域のバックアップがあるので、加入率が良い。

- ・ 入学説明会で、地区ごとに集まり、子ども会の説明とLINEをして、入学フォローをする。
- ・ 子ども会に入ったからこそ、子どものためのつながりを学ぶことがあってメリットがある。
- ・ 保護者として、入学前に情報がもらえるのは大きい。

④ 駅前の自治会

- ・ 人と人が出会う仕掛け、顔を合わせられる仕組みは必要と感じ、つながりを作るだけの会を実施している。子ども会や自治会未加入の方の参加もOKにしている。
- ・ ラジオ体操「朝活デイズ」。自治会予算も使わせてもらえる。その時できることを都度考える事が大切で、「引き継がない」ことで負担を減らせる面もあると感じている。

⑤ 清水公民館・・・24自治会。1,350世帯。

- ・ 清水地区の子ども会は無くなった。全体の少子高齢化。スポーツ関係のまとまりが強くなったので、子ども会は役割を終えた。公民館でこども向けイベントをすることも数年前からなくなり、運動会も地域だけで室内で行っている。

意見交換での主な意見等

2 その他の意見交換

- ・ 自治会に入るメリットは誰にあるのかというと、通常時はそんなにメリットはないが、災害時は特に地域がまとまっていると助かるということだと思う。しかし、自治会から日常的な子ども会の参加を強制されることを嫌がる、という流れもある。たまたま存続したくない人が役員をすると、子ども会そのものが廃止になってしまう。
- ・ 地域の薬局の経営者だが、若いスタッフが、老人会とグラウンド・ゴルフをしたらつながりができた。そうめん流しを子ども会と実施した。竹の準備などは自治会協力。ハロウィンイベントは5回目。とても喜ばれた。参加が増えすぎると困るので、地域のみ告知。「来たい人がくるイベント」を、会社の負担で、今後もやっていきたい。
- ・ 公民館活動を間近で見て、未来を感じない。若いからというだけで、そのまま引き継ぐことをあてにされるのは困と感じている。ずっとやっている今の誰かが倒れると続かない、そういう先々の破綻が見えているものに迂闊に手を出せないと感じている。
- ・ 地域の方と話せる関係性を作れると、ぶつかっても和解もできるので、つながりは必要だ。そういう意味で、PTAはコミュニティの練習ではないかと感じている。子どもが小さいときにメリットを感じた人たちが、自治を学んで「自分たちがどんな地域を作っていきたいか」を考えて、自治会活動などにもコミットしているのではないか。
- ・ 私の大変とあなたの大変は違うということの理解が必要。役をもらって得をしていることなど、自分の感じるメリットを伝えると同時に、時代に合わせていろんな形も変えていく。「役割分担する」ことを積極的にできる事が必要。
- ・ 会議はちゃんと意見を述べてほしいので、事前にペーパーレス化して共有している。
- ・ どうしても話さないといけないことだけを話し合うようにすると、参加率が高くなるようだ。

意見交換での主な意見等